

4. 2 対外的発表

○ 学会等における口頭・ポスター発表

1. 1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
文化系の防災教育—人をもみる／思想をつくる(基調講演)	関谷直也	東海圏減災研究 コンソーシアム 第4回シンポジウム・ふじのくに防災フェロー養成講座, 2016年度シンポジウム 現代における防災実務者育成の重要性, 静岡県地震防災センター	平成 28 年 3 月 18 日	国内

2. 1. 1 歴史文書・地震記録の調査

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
日本海で発生した M7 クラスの地震の津波断層モデルの検証（ポスター発表）	室谷智子・佐竹健治・原田智也	日本地球惑星科学連合 2016 年大会 (幕張メッセ)	平成 28 年 5 月 25 日	国内

2. 1. 2 津波堆積物の調査

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Characterization of electric conductivity, pH, and organic-walled microfossils for identifying tsunami deposits: An example of modern tsunami and paleotsunami deposits in Pacific Coast lowlands, Hokkaido and Tohoku,	Kase, Y., Hayashi, K., Kawakami, G., Nishina, K., Urabe, A., Takashimizu, Y.	9th Biennial Workshop on Japan-Kamchatka-Alaska Subduction Processes (アラスカ)	平成 28 年 6 月 3 日	国際

Japan (口頭発表)				
1741年渡島大島噴火に伴う地すべりモデル (ポスター発表)	伊尾木圭衣・谷岡勇市郎・川上源太郎・加瀬善洋・仁科健二・廣瀬 亘・石丸聡・柳澤英明	日本地球惑星科学連合 2016年大会 (幕張メッセ)	平成28年 5月24日	国内
富山・石川地域の海岸平野に記録されたイベント堆積物 (口頭発表)	ト部厚志・清水康博・片岡香子・仁科健二・川上源太郎・平川一臣・酒井英男	日本地球惑星科学連合 2016年大会 (幕張メッセ)	平成28年 5月26日	国内
磁気ファブリックから復元した3・11津波の挙動 (口頭発表)	清水康博・羽鳥祐香・ト部厚志・加瀬善洋・林 圭一	日本地球惑星科学連合 2016年大会 (幕張メッセ)	平成28年 5月26日	国内
1741年渡島大島山体崩壊に伴う津波 (ポスター発表)	伊尾木圭衣・谷岡勇市郎・川上源太郎・加瀬善洋・仁科健二・廣瀬 亘・石丸聡・柳澤英明	日本地震学会 2016年度秋季大会 (名古屋国際会議場)	平成28年 10月6日	国内
日本海東縁の古津波堆積物：時・空間分布概観 (口頭発表)	平川一臣	日本地質学会第123年学術大会 東京大会トピックセッション (日本大学)	平成28年 9月12日	国内
北海道日本海沿岸の津波堆積物と津波履歴 (口頭発表)	川上源太郎・仁科健二・加瀬善洋・林 圭一・廣瀬 亘	日本地質学会第123年学術大会 東京大会トピックセッション (日本大学)	平成28年 9月12日	国内
秋田県沿岸部にみられるイベント堆積物とその形成年代 (口頭発表)	鎌滝孝信・松富英夫・阿部 恒平・黒澤英樹	日本地質学会第123年学術大会 東京大会トピックセッション (日本大学)	平成28年 9月12日	国内
若狭湾沿岸で見出された津	山本博文・本彦	日本地質学会第	平成28年	国内

波堆積物（口頭発表）	翔・佐々木直 広・ト部厚志	123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	9月12日	
静穏な海岸背後にあるスト ーム性段丘(storm swash terrace)上の礫の分布ースト ームと津波による分布特性 の相違ー（口頭発表）	仁科健二・川上 源太郎・加瀬善 洋・廣瀬 亘・ト 部厚志・高清水 康博・平川一臣	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	平成28年 9月12日	国内
津波堆積物の堆積過程にお ける有機質微化石の比重分 別（口頭発表）	林 圭一・加瀬善 洋・ト部厚志・ 高清水康博・川 上源太郎・仁科 健二	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	平成28年 9月12日	国内
無機化学分析による津波堆 積物の認定：予察的検討 （口頭発表）	加瀬善洋・川上 源太郎・仁科健 二・林 圭一・ト 部厚志・高清水 康博	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	平成28年 9月12日	国内
新潟～富山地域の海岸低地 に記録されたイベント堆積 物（口頭発表）	ト部厚志	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	平成28年 9月12日	国内
山陰での津波堆積物調査と その成果（ポスター発表）	酒井哲弥・入月 俊明・藤原勇 樹・安井絵美	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会トピック セッション （日本大学）	平成28年 9月12日	国内
巨大津波が内湾の海底に与 える影響の検討、北海道噴火 湾の場合（ポスター発表）	仁科健二	日本地質学会第 123年学術大会 東京大会 （日本大学）	平成28年 9月11日	国内
陸上津波堆積物に含まれる マッドクラスト（口頭発表）	高清水康博・茂 野 玲・羽鳥祐 香・ト部厚志	日本堆積学会 2017年松本大 会（信州大学）	平成29年 3月26日	国内
海底におよぶ津波の影響ー 日本海北部海域の複数の波 源，古海水準条件による検討	仁科健二	日本堆積学会 2017年松本大 会（信州大学）	平成29年 3月26日	国内

－（ポスター発表）				
-----------	--	--	--	--

2. 2. 1 沖合構造調査

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所 （学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Crustal structure and opening process on the back-arc basin in the southwestern margin of the Japan Sea（ポスター発表）	Takeshi Sato, Tetsuo No, Shuichi Kodaira, Ryuta Arai, Seiichi Miura, Tatsuya Ishiyama, Hiroshi Sato	JpGU meeting 2016 （幕張メッセ）	平成28年 5月24日	国内
地震探査による若狭湾周辺～大和海盆西部の地殻構造（ポスター発表）	野徹雄，佐藤壮， 小平秀一，新井 隆太，三浦誠一， 石山達也，佐藤 比呂志	日本地球惑星科学連合2016年 大会 （幕張メッセ）	平成28年 5月26日	国内
日本海佐渡島沖・東北日本弧—西南日本弧境界域の地震学的構造特徴（口頭発表）	佐藤壮，野徹雄， 小平秀一，高橋 成実，藤江剛， 三浦誠一，金田 義行，加藤直子， 蔵下英司，石山 達也，佐藤比呂 志，越谷信，豊 島剛志，石川正 弘，戸田茂，吉 田武義	日本地震学会 2016年度秋季 大会（名古屋国 際会議場）	平成28年 10月6日	国内
日本海地震・津波調査プロジェクトによる大和海盆西部およびその周辺海域での地震探査（口頭発表）	野徹雄，佐藤壮， 小平秀一，新井 隆太，三浦誠一， 石山達也，佐藤 比呂志	物理探査学会第 135回(平成28 年度秋季)学術 講演会（室蘭工 業大学）	平成28年 10月26 日	国内
自己浮上型海底地震計の浮上速度の改善（口頭発表）	野徹雄，森誠一， 佐藤壮，佃薫， 寺田育正，芹澤 皇子，三浦誠一， 小平秀一	海洋理工学会平 成28年度秋季 大会（京都大学）	平成28年 10月28 日	国内

Formation process in the margin of the southern Japan Sea back-arc basin revealed from active-source seismic data (ポスター発表)	Takeshi Sato, Tetsuo No, Shuichi Kodaira, Seiichi Miura, Tatsuya Ishiyama, Hiroshi Sato	2016 AGU Fall Meeting (サンフランシスコ)	平成28年 12月12日	国際
Crustal formation and deformation processes in the eastern margin of the Japan Sea back-arc basin deduced from active-source seismic data (口頭発表 [招待])	Shuichi Kodaira, Takeshi Sato, Tetsuo No, Seiichi Miura	2016 AGU Fall Meeting (サンフランシスコ)	平成28年 12月13日	国際
「日本海地震・津波調査プロジェクト」による鳥取沖～能登半島沖縁辺部および西部大和海盆の地殻構造 (ポスター発表)	佐藤壮, 野徹雄, 小平秀一, 三浦誠一	ブルーアース2017 (東京)	平成29年 3月2日	国内

2. 2. 2 海域プレート構造調査

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別
日本海大和海盆下の上部マントル構造 (ポスター発表)	中東和夫, 山下裕亮, 山田知朗, 望月公廣, 塩原肇, 篠原雅尚	日本地震学会2016年度秋季大会 (名古屋国際会議場)	平成28年 10月5日	国内
Mantle wedge structure beneath the Yamato Basin, southern part of the Japan Sea revealed by long-term seafloor seismic observations (ポスター発表)	K. Nakahigashi, T. Yamada, Y. Yamashita, K. Mochizuki, H. Shiobara, M. Shinohara	2016 American Geophysical Union Fall meeting (サンフランシスコ)	平成28年 12月14日	国際

2. 3 沿岸海域および海陸統合構造調査

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別

Back-arc basin opening and closure along the southern margin of the Sea of Japan (ポスター発表)	Hiroshi Sato, Johan S. Claringbould, Tatsuya Ishiyama , Naoko Kato, Shinji Kawasaki, Susumu Abe	European Geosciences Union General Assembly 2016 (ウィーン)	平成 28 年 4 月 20 日	国際
Structure and evolution of backarc marginal rifts in Japanese island arcs (口頭発表)	Sato, H., T. Ishiyama, S. Abe, N. Kato, A. Van Horne, J.S. Claringbould, T. Iwasaki, M. Matsubara & T. Takeda	17th International Seismix Symposium (アヴィモア、 スコットラン ド)	平成 28 年 5 月 15-20 日	国際
日本海地震・津波調査プロジェクト: 海陸統合地殻構造探査(舞鶴 2015 測線)の成果 (ポスター発表)	加藤直子・佐藤 比呂志・石山達 也・戸田 茂・川 崎慎治・阿部 進・舞鶴構造探 査研究グループ	日本地球惑星科 学連合 2016 年 大会 (幕張メッセ)	平成 28 年 5 月 22-26 日	国内
Structural evolution of the southern margin of the Sea of Japan: implications from recently obtained seismic data (ポスター発表)	Johan Claringbould, Hiroshi Sato , Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato , Shinji Kawasaki , Susumu Abe	日本地球惑星科 学連合 2016 年 大会 (幕張メッセ)	平成 28 年 5 月 22-26 日	国内
日本海佐渡島沖・東北日本弧—西南日本弧境界域の地震学的構造特徴(口頭発表)	佐藤壮・野 徹 雄・小平秀一・ 高橋成実・藤江 剛・三浦誠一・ 金田義行・加藤 直子・蔵下英	日本地球惑星科 学連合 2016 年 大会 (幕張メッセ)	平成 28 年 5 月 22-26 日	国内

	司・石山達也・佐藤比呂志・越谷 信・豊島剛志・石川正弘・戸田 茂・吉田武義			
1948年福井地震震源域および福井平野東縁断層帯の高精度反射法地震探査および重力探査（口頭発表）	石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・蔵下英司・越谷 信・戸田 茂・小林健太・野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・白石和也・東中基倫・阿部 進	日本地質学会第123年学術大会東京大会（日本大学）	平成28年9月10日	国内
日本海の地質構造と震源断層（招待講演）	佐藤比呂志	日本地質学会第123年学術大会東京大会（日本大学）	平成28年9月12日	国内
沈み込み帯地震発生モデルの構築に向けて（招待講演）	佐藤比呂志・石山達也・橋間昭徳	日本活断層学会2016年秋季大会（東京）	平成29年10月29日	国内

2.4 陸域活構造調査

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
高分解能浅層反射法地震探査から明らかになった森本-富樫断層の地下構造とその構造的特徴（口頭発表）	石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・戸田 茂	日本地球惑星科学連合2017年大会（幕張メッセ）	平成29年5月23日	国内
金沢平野北東縁・森本断層を横切る反射法地震探査（ポスター発表）	加藤直子・石山達也・佐藤比呂志・戸田 茂	日本地球惑星科学連合2017年大会（幕張メッセ）	平成29年5月24日	国内
1948年福井地震震源域および福井平野東縁断層帯の高精度反射法地震探査および重力探査（口頭発表）	石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・越谷 信・佐々木 弾・戸田 茂	日本地質学会2016年学術大会（日本大学）	平成28年9月10日	国内

Transfer fault earthquake in compressionally reactivated back-arc failed rift: 1948 Fukui earthquake (M7.1), Japan (口頭発表)	Ishiyama, T., Sato, H., Kato, N., and Koshiya, S.	EGU Joint Assembly 2017 (Vienna, Austria)	平成 29 年 4 月 26 日	国際
---	---	---	------------------	----

2. 5. 1 断層モデルの構築

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別
Back-arc basin opening and closure along the southern margin of the Sea of Japan (ポスター発表)	Hiroshi Sato, Johan S. Claringbould, Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato, Shinji Kawasaki, Susumu Abe	European Geosciences Union General Assembly 2016 (ウィーン)	平成 28 年 4 月 20 日	国際
Structure and evolution of backarc marginal rifts in Japanese island arcs (口頭発表)	Sato, H., T. Ishiyama, S. Abe, N. Kato, A. Van Horne, J.S. Claringbould, T. Iwasaki, M. Matsubara & T. Takeda	17th International Seismix Symposium (アヴィモア、スコットランド)	平成 28 年 5 月 15-20 日	国際
Structural evolution of the southern margin of the Sea of Japan: implications from recently obtained seismic data (ポスター発表)	Johan Claringbould, Hiroshi Sato, Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato, Shinji Kawasaki, Susumu Abe	日本地球惑星科学連合 2016 年大会 (幕張メッセ)	平成 28 年 5 月 22-26 日	国内
日本海の地質構造と震源断層 (招待講演)	佐藤比呂志	日本地質学会第 123 年学術大会 (日本大学)	平成 28 年 9 月 12 日	国内

沈み込み帯地震発生モデルの構築に向けて（招待講演）	佐藤比呂志・石山達也・橋間昭徳	日本活断層学会 2016年秋季大会（東京）	平成29年 10月29日	国内
Simulation for Inland Stress accumulation due to Interseismic Coupling in the Southwest Japan Arc（ポスター発表）	Hashima, A., H. Sato, and T. Ishiyama	American Geophysical Union Fall Meeting, 2016 (Moscone Center, San Francisco)	平成28年 12月12日	国際
Some fundamental questions about the evolution of the Sea of Japan back-arc（ポスター発表）	Van Horne, A., H. Sato, and T. Ishiyama	American Geophysical Union Fall Meeting, 2016 (Moscone Center, San Francisco)	平成28年 12月12日	国際

2. 5. 2 沿岸域の地震活動の把握

発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Failed rift system in northern Honshu, Japan, imaged by improved seismic velocity structure using offshore earthquake events（口頭発表）	Matsubara M. and H. Sato	IASPEI-IAG（神戸）	平成29年 8月3日	国際
Shallow Moho along the failed rift on the coast of Japan Sea beneath Japanese Islands（ポスター発表）	Matsubara M. and H. Sato	IASPEI-IAG（神戸）	平成29年 8月3-4日	国際
Seismogenic Layer within the Crust beneath Japanese Islands on the Japan Sea Side - application of JUICE catalog（口頭発表）	Yano T. E. and M. Matsubara	IASPEI-IAG（神戸）	平成29年 8月3日	国際
Estimation of seismic velocity structure beneath	Matsubara M. and H.	AGU Fall Meeting（サン	平成28年 12月15日	国際

the ocean (including Japan Sea) as well as beneath the Japanese Islands using offshore events with NIED Hi-net pick data and NIED F-net focal depth (ポスター発表)	Sato	フランシスコ)	日	
--	------	---------	---	--

2. 5. 3 構成岩石モデルの構築

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別
単斜輝石ナノ多結晶体の高温変形実験 (口頭発表)	石川正弘・坪川祐美子	日本地質学会第123年学術大会, 日本大学 (東京)	平成28年9月12日	国内
Deformation of sintered nano-polycrystalline diopside (ポスター発表)	石川正弘・坪川祐美子	AGU FALL MEETING, モスコーンセンター, カリフォルニア州 (USA)	平成28年12月16日	国際

2. 6 海溝型地震と内陸沿岸地震の関連メカニズムの評価準備

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別
Near-field and far-field effects of elastic structure on coseismic deformation of the 2011 Tohoku earthquake, Japan (口頭発表)	Hashima, A., T.W. Becker, A.M. Freed, H. Sato, D.A. Okaya, H. Suito, H. Yarai, T. Ishiyama, and T. Iwasaki	European Geosciences Union General Assembly 2016 (Austria Centre Vienna)	平成28年4月19日	国際
粘弾性と余効すべりを考慮した2011年東北沖地震による関東地方の応力変化モデル (口頭発表)	橋間昭徳・T.W. Becker・A.M. Freed・佐藤比呂志・D.A. Okaya・水藤尚・矢来博司・	日本地球惑星科学連合2016年大会 (幕張メッセ)	平成28年5月23日	国内

	松原 誠・武田哲也・石山達也・岩崎貴哉			
2011年東北沖地震後の地殻変動データを用いた粘性構造と余効すべりの推定 (口頭発表)	橋間昭徳・A.M. Freed・T.W. Becker・佐藤比呂志・D.A. Okaya・畑中雄樹	地震予知連絡会議 (東京)	平成28年8月22日	国内
東北日本の巨大地震サイクルモデル：地学的—測地学的上下変動の矛盾について (ポスター発表)	橋間昭徳・佐藤利典	日本地震学会2016年度秋季大会 (名古屋国際会議場)	平成28年10月6日	国内
Simulation for Inland Stress accumulation due to Interseismic Coupling in the Southwest Japan Arc (ポスター発表)	Hashima, A., H. Sato, and T. Ishiyama	American Geophysical Union Fall Meeting, 2016 (Moscone Center, San Francisco)	平成28年12月12日	国際

3. 1 津波予測

発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所 (学会名等)	発表時期	国際・国内の別
Data Assimilation of High-Density Pressure Gauge Observations Off Cascadia from the 2012 Haida Gwaii Earthquake (口頭発表)	Aditya GUSMAN, Anne F. SHEEHAN, Kenji SATAKE, Mohammad HEIDARZADEH, Iyan MULIA, Takuto MAEDA	Asia Oceania Geosciences Society 2016 meeting (北京)	平成28年8月1-5日	国際
北陸沖海域の活断層による日本海沿岸部の津波高 (ポスター発表)	Gusman, A.R., 佐竹健治, 室谷智子, 石辺岳男	日本地震学会2016年度秋季大会 (名古屋国	平成28年10月6日	国内

		際会議場)		
Join inversion of teleseismic body waves and tsunami waveforms for the 2016 strike-slip earthquake in the Wharton basin (口頭発表)	Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoya Harada	日本地震学会 2016年度秋季 大会(名古屋国 際会議場)	平成28年 10月7日	国内
Modeling of Grain Size Distribution of Tsunami Sand Deposits in V-shaped Valley of Numanohama During the 2011 Tohoku Tsunami (ポスター発表)	Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoko Goto, Tomoyuki Takahashi	AGU 2016 fall meeting (サン フランシスコ)	平成28年 12月15 日	国際

3.2 強震動予測

発表成果(発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所(学会名等)	発表時期	国際・国内の別
スペクトルインバージョンに基づく北陸地方の強震観測点におけるサイト増幅特性の推定(口頭発表)	染井一寛, 浅野公之, 岩田知孝, 宮腰研, 大堀道広	日本地球惑星科学連合2016年大会 (幕張メッセ)	平成28年 5月24日	国内
Estimation of Site Amplification Factors for Strong Motion Stations in the Hokuriku District, Japan (ポスター発表)	Somei, K., Asano, K., Iwata, T., Miyakoshi, K., Ohori M.	表層地質が地震動に及ぼす影響に関する第5回国際シンポジウム論文集 (Taipei, Taiwan)	平成28年 8月15日	国際

○ 学会誌・雑誌等における論文掲載

1.1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所(雑誌名等)	発表時期	国際・国内の別
避難の意思決定構造—日本海沿岸住民に対する津波意識調査より	関谷直也・田中淳	自然災害科学, Vol.34, 特別号 (査読論文), pp.91-103	平成28 年9月20 日	国内
防災・減災へ向けた情報発信	田中淳	消防研修,	平成28	国内

の未来像		vol.100, pp.32-40	年 9 月	
------	--	----------------------	-------	--

1. 2 沿岸防災手法の工学的評価

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 （雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Long wave propagation and run-up in converging bays	Takenori Shimozono	Journal of Fluid Mechanics	平成 28 年 6 月	国際
Formation of breaking bores in Fukushima Prefecture due to the 2011 Tohoku Tsunami	Shinji Sato and Shohei Ohkuma	Proc. Intl. Conf. on Coastal Engineering	平成 29 年 4 月	国際
An experimental study on sand dune sediment transport due to tsunami overwash	K M Ahtesham Hossain Raju and Shinji Sato	Proc. Intl. Conf. on Coastal Engineering	平成 29 年 4 月	国際

2. 1. 2 津波堆積物の調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 （雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
北海道南西部奥尻島で発見された津波堆積物	加瀬善洋・仁科健二・川上源太郎・林圭一・高清水康博・廣瀬亘・嵯峨山積・高橋良・渡邊達也・輿水健一・田近淳・大津直・卜部厚志・岡崎紀俊・深見浩司・石丸聡	地質学雑誌, 122, 587-602	平成 28 年 11 月	国内
秋田県男鹿市および八峰町における津波堆積物調査	鎌滝孝信・高渕慎也・松富英夫・阿部恒平・黒澤英樹	土木学会論文集 B2(海岸工学), 72, I-1693-I-1698	平成 28 年 11 月	国内
Stratigraphic records of tsunamis along the Japan Sea,	Kawakami, G., Nishina, K., Kase, Y.,	Island arc, in press	平成 29 年 2 月	国内

southwest Hokkaido, northern Japan	Hayashi, K., Tajika, J., Hirose, W., Sagayama, T., Watanabe, T., Ishimaru, S., Koshimizu, K., Takahashi, R., Hirakawa, K.			
北海道日高海岸北部から確認された 17 世紀の津波堆積物	高清水康博・仁科健二・川上源太郎・佐藤 善輝・岡村 聡・中西 諒・田村 慎・廣瀬 亘・高橋 良・石丸 聡	第四紀研究, 56, 1-9.	平成 29 年 1 月	国内

2. 3 沿岸海域および海陸統合構造調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 (雑誌名等)	発表時期	国際・国内の別
Structures and active tectonics of compressionally reactivated back-arc failed rift across the Toyama trough in the Sea of Japan, revealed by multiscale seismic profiling	Tatsuya Ishiyama, Hiroshi Sato, Naoko Kato, Shin Koshiya, Susumu Abe, Kazuya Shiraishi, Makoto Matsubara	Tectonophysics	印刷中 (Web 掲載：平成 28 年 9 月 25 日)	国際
Evolution of the Sea of Japan back-arc and some unsolved issues	Anne Van Horne, Hiroshi Sato, Tatsuya Ishiyama	Tectonophysics	印刷中 (Web 掲載：平成 28 年 8 月 26 日)	国際

2. 4 陸域活構造調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 (雑誌名等)	発表時期	国際・国内の別
------------	-------	----------------	------	---------

Structures and active tectonics of compressionally reactivated back-arc failed rift across the Toyama trough in the Sea of Japan, revealed by multiscale seismic profiling	Ishiyama, T., Sato, H., Kato, N., Koshiya, S., Abe, S., Shiraishi, K., and Matsubara, M.	Tectonophysics	印刷中 (Web掲載：平成28年9月25日)	国際
--	--	----------------	---------------------------	----

2. 5. 1 断層モデルの構築

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所 (雑誌名等)	発表時期	国際・国内の別
Structures and active tectonics of compressionally reactivated back-arc failed rift across the Toyama trough in the Sea of Japan, revealed by multiscale seismic profiling	Ishiyama, T., Sato, H., Kato, N., Koshiya, S., Abe, S., Shiraishi, K., and Matsubara, M.	Tectonophysics	印刷中 (Web掲載：平成28年9月25日)	国際

○ マスコミ等における報道・掲載

日本海地震・津波調査プロジェクト 全体

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関 (新聞名・TV名)	発表時期	国際・国内の別
「日本海中部地震33年」に関する特集	篠原雅尚	NHK 秋田放送局、 ニュースこまち	平成28年5月25日	国内
地震解明大調査 海陸で人口地震波送る 文科省8年プロジェクト	篠原雅尚	朝日新聞（鳥取）	平成28年11月17日	国内

1. 3 地域研究会・合同地域研究会の実施

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関 (新聞名・TV名)	発表時期	国際・国内の別
被害軽減は耐震化と素早い非難 県が津波浸水・被害想定を説明、意見交換	関谷直也・大塚浩二	庄内日報	平成28年5月27日	国内
津波対策 意見交わす 庄内総合支庁 想定踏まえ説明会	関谷直也・大塚浩二	山形新聞	平成28年5月27日	国内

富山 ボルファートとやま 地域防災フォーラム	プレス公開 (富山県共 催)	NHK 富山放送局 きょうの動き	平成 28 年 10 月 28 日	国内
防災意識 日頃から 富山 でフォーラム 県内の災害 紹介	プレス公開 (富山県共 催)	北日本新聞	平成 28 年 10 月 29 日	国内
地域防災を考える 県など 富山でフォーラム	プレス公開 (富山県共 催)	富山新聞	平成 28 年 10 月 29 日	国内

2. 1. 2 津波堆積物の調査

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関 (新聞名・TV名)	発表時期	国際・国 内の別
地震解明大調査	卜部厚志	朝日新聞 鳥取、島 根、富山、福井版	平成 28 年 11 月 17 日	国内

2. 3 沿岸海域および海陸統合構造調査

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関 (新聞名・TV名)	発表時期	国際・国 内の別
韓国・頻発する地震、熊本と 同じ地殻変動？ 研究者「西 日本なお警戒を」	佐藤比呂志	西日本新聞	平成 28 年 9 月 23 日	国内

3. 1 津波予測

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関 (新聞名・TV名)	発表時期	国際・国 内の別
「輪島の津波 十数メートル に」 東大地震研 佐竹教授 が講演	佐竹健治	中日新聞	平成 28 年 10 月 14 日	国内